

平成30年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立七松小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国調査の結果から見られる課題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 各教科の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・国語 話し合いにおける報告の説明として適切な物を選ぶ力、書かれている内容の説明として適切な物を選択する力、違う考えの人を説得するために引用する文章を選択する力。 ・算数 記述式の問題で自分の考えを数的に表現する力に課題がある。 (2) 質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目で全国平均を下回っている。 ・1日あたりの読書の時間が10分未満の児童が44.6%いる。 ・平日の学習時間 全くしていない児童が20%いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究授業で講師を招聘し、客観的な指導助言を受け、より一層資質向上に努める。【(1)アクティブ・ラーニング講師招聘を活用】 ○ 先進校を視察し、校内の教員の授業力向上に努める。【(2)旅費を活用】 ○ 児童が「学び合う」授業の構築【(1)アクティブ・ラーニング推進支援を活用】 ○ 校内研究に基づく共通の学習スタイル「七松スタイル」の実施(授業の中でめあて・ねらいを示すことも含めて)【(1)アクティブ・ラーニング推進支援を活用】 ○ 授業改善アドバイザーによる若手教員への指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の学習タイムでは黙って読書することを大切に、読書に慣れ親しむ児童の育成に努める。 ○ チャレンジタイム(掃除後の帯時間)を使って、主に算数の基礎基本の力を定着させるように全校でプリント学習に取り組む。【(5)学力定着支援を活用】 ○ 学習習慣をつけるため、家庭と連携し、スタディプランを活用する。【(5)学力定着支援を活用】 ○ 放課後学習で、基礎基本の力を定着させる。【(4)放課後等学習支援を活用】 ○ 学校図書館を有効活用し、読書力の向上を図る。【(6)地域人材活用支援を活用】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に1回、理科朝会を実施し理科に対する児童の興味関心を高める。【(5)学力定着支援を活用】 ○ 読書量の増加と、言語活動への意欲向上のためにボランティアによる読み聞かせを実施する。【(6)地域人材活用支援を活用】 ○ 学期1回の音読集会、及びノート検定を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力学習状況調査 <ul style="list-style-type: none"> (1) 学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習に取り組み、自分の考えを表現する力をのばす。 ・チャレンジタイムで計算の基礎基本の力を養い、さらに活用力ものをのばす。 (2) 質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の前で自分の考えや意見を発表する場を増やし苦手意識を減らし、自分の考えを深めたり、広げたりできるようにさせる。 ・朝読書の定着、学級文庫を充実させる等して90%以上の児童が毎日10分以上読書するようにする。 ・家庭と連携し、家庭での学習習慣を確立させる。

校種間連携
<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏季合同研修会の実施 ○ 相互の授業参観、研究協議 ○ 入学前テストの検証を踏まえた授業の改善 ○ 中学校生活について生徒会の説明の実施

活用する支援内容	
支援内容	具体的内容
(1)アクティブ・ラーニング推進支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語「活きた対話と交流のある授業」 桃山学院教育大学 今宮 信吾准教授 4回 ○ 算数 子どもたち同士が対話的に学び、主体的に課題解決に取り組む姿勢を培う深い学び合いを取り入れた授業実践を推進し、さらなる学力向上を図る。
(2)先進校視察支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先進校の研究大会などに進んで参加し授業力向上を図る。
(3)授業補助支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の授業において、同室複数授業を実施し、児童の一人思考の学びの支援や主体的、対話的で深い学びを推進する。
(4)放課後等学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後週1回、3年生以上に宿題を中心に基礎的な課題に取り組みせ基礎学力の定着を図る。夏期休業中は、基礎基本の定着と高学年には記述を主とする課題にも取り組みませ、活用力の育成を図る。
(5)学力定着支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科朝会材料費 ○チャレンジタイム用紙代 ○スタディプラン用紙代
(6)地域人材活用支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書への関心意欲を高めるため、図書ボランティアによる図書室の整備、読み聞かせ、大型紙芝居を行う。
(7)その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語活動指導補助員報償費

家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上アクションプランの明示 ○ 読書習慣の家庭への啓発による読書力の向上 ○ スタディプランの活用による学習習慣の定着 ○ 学力調査結果の公表 ○ 学校ホームページの充実